

2017年6月20日

公益財団法人 立松財団 第25回(平成29年度)研究助成対象を決定 ～助成総額は2,595万円、助成累計は5億5,686万円～

公益財団法人 立松財団（理事長：立松憲親、事務局：トヨタ車体株式会社）は、第25回（平成29年度）研究助成対象を決定しました。応募総数104件の中から助成対象として39件を選定。今回の助成総額は2,595万円で、助成額の累計は5億5,686万円となりました。

1. 助成の対象

愛知県内の大学、工業高等専門学校、短期大学および研究機関が行なう基礎工学分野の研究を対象とし、助成内容は以下のとおりです。

①特別研究助成：機械装置などで高額な費用を要する高度な研究（助成額200万円×4件）

研究テーマ	所属	氏名
ヘテロ成長とウエハ接合を組み合わせた大面積化合物半導体多接合太陽電池の開発	豊橋技術科学大学 助教授	山根 啓輔
環境調和型分子変換プロセスによるキラル第三級アルコールの不斉合成	豊橋技術科学大学大学院 工学研究科 環境・生命工学系 准教授（薬学博士）	柴富 一孝
大気圧プラズマ CVD 法による大面積ガスバリア SiN 膜の高速堆積技術の開発	名古屋大学大学院 工学研究科 電子工学専攻 助教授（工学博士）	鈴木 陽香
環境調和型新規不斉触媒の創製と四置換不斉炭素を有する生物活性物質の合成法の開発	名古屋工業大学大学院 工学研究科 生命・応用化学専攻 准教授	中村 修一

②一般研究助成：機械装置などで費用を要する研究（助成額100万円×14件）

テーマ：一次元ディラック電子系における高性能熱電冷却材料の開発 など

③海外調査研究助成：海外での研究発表、情報収集（助成額15万円×5件、20万円×16件）

目的：ハノイ（ベトナム）で開催される国際会議、The 4th Asia-Pacific Conference on Life Science and Engineering (APCLSE)に参加し研究発表の他、情報収集 など

2. 助成対象の選考

本財団より委任された愛知県内の大学教授7名による選考委員会で審査、決定しております。
（第26回研究助成の募集は平成30年4月～を予定）

【公益財団法人 立松財団とは】

立松 巖（故人・元トヨタ車体社長）が満90歳を迎えるにあたり、私財（累計20億円）を拠出して1993年9月20日に設立しました。本財団は、基礎工学に関する研究開発に対し助成を行なうことにより、科学技術の振興を図り、広く社会の発展に寄与することを目的としています。

トヨタ車体株式会社が運営を委託され、事務局を社内に設置しています。

公益財団法人 立松財団事務局

刈谷市一里山町金山100番地（トヨタ車体株式会社内 担当：伊藤）

TEL：0566-36-9840 FAX：0566-36-2195 URL：<http://www.tatematsu.or.jp>

Eメール：TATEMATSU.ZAIDAN@mail.toyota-body.co.jp

以上

世界のくらしに 笑顔届けたい

